

工兵科

三四

航空兵科

五九

輜重兵科

一七

計

五一六

備考

兵科確定前缺員ヲ生シタレトキ八次ノ順序ニ依
リ逐次一名宛控除スルモノトス

1. 輜重兵 2. 歩兵 3. 騎兵 4. 工兵 5. 重砲兵

6. 航空兵 7. 歩兵 8. 騎兵 9. 工兵 10. 輜重兵

保存期限

永久

決裁指定

局長

決行指定



政務次官回付

決裁前後連帶課名

軍事、兵務、補任

決行(決裁)後回覽課名



受領番號

貳第一二三九號其一

起元廳(課)名

教育總務部

陸軍士官學校豫科生徒各兵科配當ノ件

政務次官

參與官

書記官

審案 筆記者

大臣 委

次官

高級副官

主務副官 官房御用掛

主務局長

主務課長

主務課員

主務局長

昭和三十八年六月八日

連帶

局長

局長

課長

大臣官房

昭和三十八年六月八日

決行後(決裁)回覽

局長

局長

課長

Handwritten notes and signatures in the left column, including names like 長局 and 課長.

副官ヨリ教育総監部庶務課長宛通牒案
陸普

本年六月五日附陸普第三一八號中
歩兵科人員二八八名ヲ二八九名
ニ計五一六名ヲ五一七名ニ変更セ
ラレタルニ付承知相成度

陸普第七一六〇號昭和十年三月十四日

陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日	陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日
陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日	陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日
陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日	陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日
陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日	陸普第七一六〇號	昭和十年三月十四日

陸普第七一六〇號 昭和十年三月十四日



式第一三九

六一

教庶第二四三五號

士官學校豫科生徒兵科配當ノ件通牒

昭和十年十一月廿九日

教育總監部庶務課長 富永信

陸軍省副官 牛島 滿 殿

首題ノ件ニ關シテハ本年六月五日附陸普第三一八八號ヲ以テ各兵科配當人員ヲ定メラレタル處更ニ左記ノ如ク配當相成度

記

歩兵科ニ一名増（二一八八名ヲ二一八九名ニ）

理由

陸軍士官學校豫科第二學年生徒坂野勳ハ修學延期見込者トシテ病氣加療中ノ處目下健康恢復シ修學ニ支障ナク昭和十一年三月士官候補生タリ得ルニ至リタルニ因ル



陸



保存期限

永久

決裁指定

決行指定

牛島

政務次官 回付 決裁前後連帶 (軍事)

永久甲 乙

決行(決裁)後 回覽課名

受領番號

肆第 四九七號

起元應(課)名

第二十師團

件名

特業(通信)修業者取扱規則ニ關スル件

大臣

大藏大臣

政務次官

次官

主務局長

參與官

高級副官

主務課長

書記官

主務副官

主務課員

審案 筆記者

三六

主務局長 受領 昭和十年三月十八日

局長 提出 昭和十年四月四日

課長 了結 昭和十年四月四日

大藏大臣 房官 昭領

決行(決裁)後 回覽

局長 課長

山

山

見

折本

1321

1321

大臣ヲ教育總監ニ照會ス

別紙寫ノ如ク第二十師團ヨリ申請アリレニ付
異存スハ同師團及第十九師團ニ示達致照
會ス

陸普第一八三〇號

右異存ナキ回答アリニ付

昭和十年四月四日

副官ヨリ第九第二十師團參謀長宛通牒ス(電報)

昭和九年陸普第一三二五號

各隊特業修業者

取扱規則陸軍ノ件達備考九ニ拘ラス歩兵隊通信修業者

兵前期入隊者ヨリ採用スルニ改メラレタルニ付依命通

牒ス

昭和十年四月八日

平

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部

第一 臨時祭委員以下任命

第二 臨時祭委員會

至急

四九七

師參教第四三號

步兵隊通信修業兵取扱之關スル件申請

昭和拾年 參月拾五日

第二十師團長梅崎延太郎

陸軍大臣 林銑十郎殿

昭和九年三月九日附陸普第 一三二五號各隊特

業修業者取扱規則改正ノ件 達 中備考一九二

拘或及當師團步兵隊通信修業兵ハ本年度以

降前期兵ヨリ採用致度之件 認可相成度申

請スル事 尚賜示ニ付テ相成度申

進天教育開始時期ノ關係取テ急ニ對付電報指

令相成度 採用ノ期ハ一二月

理由 由コトハ採用スルハ前年修業兵

一幹部候補者制度改正ノ結果ハ三期ハ營部隊子

ハハハハ幹部候補生有資格者ハ前期之ハ營兵



陸

軍



心ヲ以テ通信修業兵ニ昇進ノ採用スル事アリ
一、幹部候補生有資格者ニ果テ採用可クモ
ノヲ採用スルコトヲ得ルヲ以テ通信修業兵ニ
優遇者ヲ採用シ得ルノ利アリ

二、將來一時期入營制度ニ改正セラル場合本
前年度前期長コリ採用シ置クヲ有利トス

三、各歩兵係ハ本年度前期長コリ採用更ニ差
向定カキ如ク準備スル事ハ本年度ハ
業修業兵ニ及ビ五ノ制ニ準テ一ノ
別表ノ年三月九日所定書第一三三三各新制

陸軍大臣 林銑十親王

陸軍省 陸軍大臣 林銑十親王
第二十四團員補給本部
陸軍省 陸軍大臣 林銑十親王

陸軍省 陸軍大臣 林銑十親王

陸軍省 陸軍大臣 林銑十親王



陸軍省 陸軍大臣 林銑十親王

至意

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 官 陸軍部 陸軍大臣 官 陸軍部 陸軍大臣 官

教庶第六七四號

特業（通信）修業者取扱規則ニ關スル件回答

昭和十年四月五日

教育總監 眞崎甚三郎

陸軍大臣 林銑十郎殿



昭和十年四月四日陸普第一八三〇號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件當方異存無之



陸軍

次安あり

第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百

別紙

二。師參教第四三號

步兵隊通信修業兵取扱ニ關スル件申請

昭和拾年参月拾五日

第二十師團長梅崎延太郎

陸軍大臣林銑十郎

昭和九年三月九日附陸普第一三二五號各隊特

業修業兵取扱規則改正ノ件 達申備考九二

拘テ又當師團步兵隊通信修業兵八本年度

以降前期兵ヨリ採用致度ニ付認可相成度申

請ス

遺テ教育開始時期ノ關係取急ニ件

電報指合相成度

理由

一、幹部候補者有制度改正の結果二期入管新隊ニ入り
 二、二期入管新隊ニ入り
 三、二期入管新隊ニ入り
 四、二期入管新隊ニ入り
 五、二期入管新隊ニ入り
 六、二期入管新隊ニ入り
 七、二期入管新隊ニ入り
 八、二期入管新隊ニ入り
 九、二期入管新隊ニ入り
 十、二期入管新隊ニ入り

110 紀元後年 日三號

五 接待ノ實地

第八、餘、興

二 三、三、九日業

十四

十四

二 大相撲

三 龍

十四

十四

保存期限



決裁指定



決行指定



政務次官 回付 決裁前後連帶課名

軍事

決行(決裁)後 回覽課名

受領番號

肆 第四九七号

起元應(課)名

第十九師團

件名

瓦斯兵採用ニ關スル件

昭和十四年四月十六日

大臣

次官

政務次官

參與官

書記官

審案 筆記者

主務局長



主務課長



主務課員



主務局長

受領番號

久我野第五九號

連帶

局長

長課

提出

受領

昭和十年四月十三日

局長

局長

長課

大臣官房

了結

昭和十年四月十日

局長

局長

長課

Handwritten notes and stamps in the main table area, including dates and names.

副官より第九及第十師團司令部議長宛電報案

セウワ九
リクフ
一三二五
(カイト トウア ヌコヒ)

昭和九年陸普第一三二五号 各隊特業修業

言(トオロ カクイノアス) タツビヨウ 九(ニアノ ホキヒ)

有取規則改正ノ件 違備考九ニ拘ラス 歩兵

レイソ カシト ヌコヒ) ヘイフ ベンイン コウキニウエイヘイヨリサイ

聯隊瓦斯修業兵ハ 全員後期入管兵ヨリ採

ヨウシウルコトニ アラタメラレタルニツキ イメイ ツウテフス

用シ得ルコトニ 改メラレタルニ付 依命通牒ス

第九三 昭和十年四月十六日

副官より 教育總監部庶務課長宛 通牒案

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

三 陸 線
二 大 隊 費

十四 十四

第十九、第二十師團步兵隊有斯兵八 昭和九年
陸省第一三二五號各隊特業修業者取扱
規則改正之件違 備考九ニ拘ラス全員後
期入営兵より採用之得ルヲトニ改メラレタルニ付
通牒ス

陸省第二一四一號 昭和十年四月十六日



兵務
田

陸軍省
陸軍部
陸軍大臣官房
陸軍省
陸軍部
陸軍大臣官房

陸軍省
陸軍部
陸軍大臣官房
10.4.15
陸軍省
陸軍部
陸軍大臣官房

陸軍省
陸軍部
陸軍大臣官房
10.4.15
陸軍省
陸軍部
陸軍大臣官房

第二三號

電報譯

四月一三日午前後六時五十分著

牛島副官宛

發信者第十九師參謀長

一九師參二二〇

四月十日一九師參四〇九、件至急承り夕に

陸軍電信著信紙

文	本	指	受氏 人名	發局	著局	
	オコ 一九シサンニニ〇、四ツキー〇ヒ一九シサン 四〇九ノケンシキウウケタマワリタシー九シ		リクグ ンセウフクカンレウシジ マミツル		官 四二字 ラナン 八七 〇六時一五分	二六 通過番號 午後 受信時分 八 技手 著信番號
		事記				

陸軍電信
 10.4.13
 所取扱信電

注意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「ヨ」トアルハ午前「ウ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省

陸軍支手
 式☆木
 陸
 三

兵務

第 四 九 七 號 四 二

陸軍省
10.4.10
午後六時

電報譯

四月一日 午前午後

時

分發

副

官宛

發信者 第九師也

一九師參 四〇九

陸軍七一ニ依リ步兵通信修業、且

ヨリ採用スル爲人選上昭和九年陸軍一三二五、備去九

ニ拘ラス互斯兵、全部ヲ後期入營兵ニ採用

シ得ル如ク改メラレ度

陸軍省
昭和九年四月十一日
第九師
通信修業
採用

原書類、左記回覽中
主務課
回覽課

陸軍

陸軍電信著信紙

文	本	指	局發	局著
	<p>一九三四年四月九日、リクフ七一、ニヨリホヘイタイツウシンシユウギ キニウエイヘイヨリサイヨウスルタメジ ンセンジ ヨウシヨウワ九ネンリクフ一三二五 、ピ コウ九ニカカワラズ ガ スヘイゼンブ ヨコウキニウエイヘイヨリサイヨウシ ウルゴ トクアラタメラレタシ、一九三四年</p>		<p>官 一四〇字 ラナン 一八 九時四八分</p>	<p>七 通過番號</p> <p style="text-align: center;">受信時分 午 七〇時三〇分</p> <p style="text-align: right;">技手 セ</p>
		事記		
			印 附 日	著信番號

陸軍省
 10.4.10
 所扱取信電

注意
 受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「日」トアルハ午前「ウ」トアルハ午後ヲ示ス

甲輯第四類 其一目次
 檢查 檢閱

番編
 部次

件

名

形式

主務

年

受

番號

一 軍需資材整備検査ニ関スル命令等
 通牒 1 件

二 軍需資材整備検査ニ関スル件通牒送付 1 件

三 国防思想普及用映画再檢閱ニ関スル件

全

新聞

一〇

全

一三九二

全

全

九

全

二三八七

通

統制

九

貳

二二二六

合

合

合

檢查檢閱

卷

頁

陸軍省 主計 器材 銃砲 軍事 勳賞 統制 次官 閣

陸軍省 第二三二六號

永久甲 陸軍省

資整檢通第一四號

軍需資材整備檢閱ニ關スル件命令等通牒ノ件

昭和九年十月二十五日 軍需資材整備檢閱官屬員 山岡重

陸軍次官 橋本虎之助殿

軍需資材整備檢閱ニ關スル件命令並通牒別紙ノ通牒

昭和九年十月二十五日 陸軍省 9.11.1 前午

監查課	
吉野	主計
井上	主計
矢野	主計
澤本	主計
中村	主計
塚家	主計

別紙一部ハ
常備三保管ス
十月十六日
主計課

八月十九日

陸軍省 9.11.2
陸軍省 9.11.6
陸軍省 9.11.7
陸軍省 9.11.9
陸軍省 9.11.16
陸軍省 9.11.5 第44號

陸軍

資整檢命第三號

軍需資材整備檢閱ニ關スル件命令

昭和九年十月二十五日

軍需資材整備檢閱官 川島 義之

殿

- 一 東京、大阪及小倉以外ノ地ニ在ル部隊ハ屬員ヲシテ檢閱ヲ代行シ又ハ查閱セシム
前項檢閱ヲ代行シ又ハ查閱セシムル部隊及屬員ハ別表第一ノ如シ
- 二 查閱セシムル部隊ニ對シテハ之ニ任スル屬員ヲシテ查閱上必要ナル事項ヲ直接指示セシム
- 三 檢閱(查閱)日割豫定ハ別表第二ノ如シ

檢閱(査閲)日割豫定表

月	日	檢 閱 (査 閲) 部 隊
十一月	十五日	在東京部隊職員ノ伺候式
十一月	十六日	陸軍兵器本廠
十一月	十八日	東京陸軍兵器支廠
十一月	二十一日	陸軍造兵廠各部 同小倉工廠東京兵器製造所(二十一日)
十一月	二十四日	陸軍造兵廠火工廠各課
十一月	二十五日	千葉陸軍兵器支廠(二十五日) 陸軍造兵廠火工廠十條兵器製造所 陸軍造兵廠火工廠王子火藥製造所 陸軍造兵廠火工廠板橋火藥製造所
十一月	二十八日	陸軍造兵廠火工廠岩鼻火藥製造所
十一月	二十九日	廣島陸軍兵器支廠
十一月	三十日	陸軍造兵廠名古屋工廠
十二月	三日	名古屋陸軍兵器支廠
十二月	四日	陸軍兵器本廠平壤出張所
十二月	五日	岡山陸軍兵器支廠 陸軍造兵廠平壤兵器製造所
十二月	六日	陸軍造兵廠火工廠忠海兵器製造所
十二月	八日	在小倉部隊職員ノ伺候式
十二月	九日	陸軍造兵廠小倉工廠
十二月	十一日	小倉陸軍兵器支廠
十二月	十四日	在大阪部隊職員ノ伺候式
十二月	十五日	陸軍造兵廠大阪工廠
十二月	十七日	大阪陸軍兵器支廠
十二月	十九日	陸軍造兵廠火工廠宇治火藥製造所 大阪陸軍兵器支廠宇治火藥庫
十二月	二十四日	講 評

備 考

一 機能検査ノ豫定ニ關シテハ別ニ示ス
二 本表ノ豫定ハ所要ニ應シ多少變更スルコトアリ

資整檢命第三號

軍需資材整備檢閱ニ關スル件命令

昭和九年十月二十五日

軍需資材整備檢閱官 川 島 義 之

殿

一 東京、大阪及小倉以外ノ地ニ在ル部隊ハ屬員ヲシテ檢閱ヲ代行シ又ハ
查閱セシム

前項檢閱ヲ代行シ又ハ查閱セシムル部隊及屬員ハ別表第一ノ如シ

二 查閱セシムル部隊ニ對シテハ之ニ任スル屬員ヲシテ查閱上必要ナル
事項ヲ直接指示セシム

三 檢閱(查閱)日割豫定ハ別表第二ノ如シ

檢閲ヲ代行シ又ハ査閲セシムル部隊及屬員表

備考		關		査		行		代		閱		檢		區分		
														部	隊	
		陸軍造兵廠火工廠宇治火藥製造所	陸軍造兵廠火工廠忠海兵器製造所	陸軍造兵廠火工廠岩鼻火藥製造所	陸軍造兵廠小倉工廠東京兵器製造所	陸軍造兵廠平壤兵器製造所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍兵器本廠平壤出張所	陸軍造兵廠名古屋工廠	陸軍造兵廠名古屋工廠	陸軍造兵廠名古屋工廠
		陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐	陸軍砲兵少佐
		西村乙嗣	馬淵良逸	眞田一郎	馬淵良逸	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	馬淵良逸	馬淵良逸	馬淵良逸
		乙嗣	良逸	眞田一郎	馬淵良逸	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	馬淵良逸	馬淵良逸	馬淵良逸
		乙嗣	良逸	眞田一郎	馬淵良逸	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	西村乙嗣	馬淵良逸	馬淵良逸	馬淵良逸

一 檢閲代行乙班ノ陸軍歩兵少佐西大條胖ハ廣島陸軍兵器支廠ノミノ檢閲ニ加ハルモノトス

二 本表ノ外遠隔セル兵器庫又ハ火藥庫等ニハ隨時屬員ヲ派遣シ査閲セシムルコトアリ

三 本表ノ屬員ハ多少變更スルコトアリ

檢閲(査閲)日割豫定表

月	日	檢 閲 (査 閲)	部 隊
十一月	十五日	在東京部隊職員ノ伺候式	
十一月	十六日	陸軍兵器本廠	
十一月	十八日	東京陸軍兵器支廠	
十一月	二十一日	陸軍造兵廠東京兵器製造所(二十一日)	
十一月	二十二日	陸軍造兵廠火工廠各課	
十一月	二十五日	千葉陸軍兵器支廠(二十五日)	
十一月	二十六日	陸軍造兵廠火工廠板橋火藥製造所	
十一月	二十八日	陸軍造兵廠火工廠岩鼻火藥製造所	
十一月	二十九日	廣島陸軍兵器支廠	
十二月	二日	陸軍造兵廠名古屋工廠	
十二月	三日	名古屋陸軍兵器支廠	
十二月	四日	陸軍兵器本廠平壤出張所	
十二月	五日	岡山陸軍兵器支廠	
十二月	六日	陸軍造兵廠火工廠忠海兵器製造所	
十二月	八日	在小倉部隊職員ノ伺候式	
十二月	九日	陸軍造兵廠小倉工廠	
十二月	十一日	小倉陸軍兵器支廠	
十二月	十四日	在大阪部隊職員ノ伺候式	
十二月	十五日	陸軍造兵廠大阪工廠	
十二月	十七日	大阪陸軍兵器支廠	
十二月	十九日	陸軍造兵廠火工廠宇治火藥製造所	
十二月	二十四日	大阪陸軍兵器支廠宇治火藥庫	

備 考

一 機能検査ノ豫定ニ關シテハ別ニ示ス
 二 本表ノ豫定ハ所要ニ應シ多少變更スルコトアリ

講 評

資整檢通第三號

軍需資材整備檢閲ニ關スル件通牒

昭和九年十月二十五日

軍需資材整備檢閲官屬員

山岡

重厚

陸軍兵器本廠長 三木善太郎殿

軍需資材整備檢閲ニ關シ左ノ通定メラル

第一 儀式

- 一 儀式ハ檢閲官衛戍地到着ノ際ニ於ケル伺候式(檢閲官ノ直接檢閲セラルル部隊ノ者ニ限ル)ノ外辭セラル
- 二 伺候式ニ關シテハ陸軍禮式第八十六條ニ據リ東京ニ在リテハ東京警備司令官、大阪及小倉ニ在リテハ夫々該地衛戍司令官ヨリ命令セラ

ルルモノトス

第二 服裝

受檢部隊ノ將校同相當官ノ服裝ハ隊伍ニ列セサル軍裝トシ最高勳章一
個ヲ佩用スルモノトス

將校同相當官以外ノ者ノ服裝ハ陸軍兵器本廠長之ヲ定ムルモノトス

第三 書類

一 陸軍兵器本廠長ハ別表第一ノ書類ヲ十一月十五日午前九時迄ニ東
京偕行社檢閲官ノ事務所ニ提出スルモノトス

陸軍兵器本廠長ハ前項ノ書類ニ準シ必要ノ書類ヲ指定シ隸下部隊長
ヲシテ當該地所在ノ檢閲官ノ事務所又ハ檢閲代行若ハ査閲屬員ノ宿
舎ニ提出セシムルモノトス

前項ノ書類提出日時ハ別表第二ノ如シ

二 受檢當日ハ檢閲(査閲)ニ關係アル一切ノ書類(年度別アルモノ昭和七、
八、九年度ノ分)ヲ査閲ニ便ナル如ク適宜ノ場所ニ配列シ置クモノトス
但實地査閲ニ關係アル書類ハ書類査閲後成ルヘク定規ノ位置ニ復シ
置クモノトス

第四 各部隊ノ檢閲(査閲)ハ通常左ノ順序ニ據ルモノトス

一 部隊長ノ報告

二 試問

三 書類査閲

四 實地査閲

第五 試問ノ際ハ成ルヘク高等官全員、書類及實地査閲ノ際ハ所要ノ關係者之ニ參列スルモノトス

第六 檢閲(査閲)當日ハ檢閲(査閲)ニ差支ナキ限り勉メテ平常ノ通作業ヲ行フモノトス

檢閲官又ハ屬員巡視ノ際危險ナル作業ニ從事スル者ハ敬禮ヲ行ハサルモノトス

第七 陸軍兵器本廠長ハ隸下部隊檢閲ノ際檢閲官ニ隨行スルモノトス但屬員ノ檢閲代行又ハ査閲スル場合ハ此ノ限ニアラス
前項ノ場合佐(尉)官一名ヲ隨行セシムルコトヲ得

右ニ要スル旅費ハ算出明細書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ増額ヲ上申スルモノトス

前記ノ外陸軍兵器本廠長ニ於テ特ニ檢閲(査閲)ニ立會ハシメントスル者アルトキハ檢閲官ノ承認ヲ受クルモノトス但之カ爲豫算ヲ増額セララルコトナシ

第八 一般ニ檢閲(査閲)ノ見學ヲ許サレス

第九 常時受檢部隊ニ在リテ服務セサル者ハ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場スルニ及ハス

東京以外ノ各地検査班ノ者ハ同一衛戍地ノ兵器支廠又ハ兵器本廠出張所ノ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場スルモノトス

第十 受檢各部隊ハ特ニ示スモノノ外受檢前日正午檢閲官(檢閲代行又ハ査閲屬員)所在ニ命令受領者ヲ出スモノトス

第十一 講評ハ十二月二十四日東京ニ於テ行ハル但檢閲官又ハ檢閲ヲ代行スル屬員ノ高級先任者ハ所要ニ應シ其ノ都度注意ヲ與ヘラルコト

アリ

講評出場者ハ在東京部隊ノ職員中特ニ示スモノトス

提出書類一覽表

名	稱	部	數
軍需動員計畫ニ關スル準備書類及業務書	類		
見積書	類		
契約履行ニ關スル關係書類	綴		
注文	綴		
物資物價調査	綴		
明細支拂豫算書類	綴		
諸計畫書類	綴		
豫算差引簿	簿		
歲入徵收簿	簿		
前金拂整理簿	簿		
廢兵器拂下價格決議書	綴		
兵器制式ニ關スル發來翰	綴		
注成品竣工豫定期日調査表	綴		
檢査受領票	綴		
兵器新調簿	簿		
前金拂差引簿	簿		
荷造積載要領、同基準表	表		
定額	簿		
寄託有價證券整理簿	簿		
保管金整理簿	簿		
契約品完納書	綴		
檢査品完納書	綴		
總豫備兵器受拂配當簿	簿		
運搬ニ關スル書類	綴		
入札關係書類	綴		
受檢計畫表	表		

備考 本表ノ外必要ナル書類ハ其ノ都度提出セシム

資整檢通第三號

軍需資材整備檢閲ニ關スル件通牒

昭和九年十月二十五日

軍需資材整備檢閲官屬員

山岡重厚

陸軍兵器本廠長 三木善太郎殿

軍需資材整備檢閲ニ關シ左ノ通定メラル

第一 儀式

- 一 儀式ハ檢閲官衛戍地到著ノ際ニ於ケル伺候式(檢閲官ノ直接檢閲セラルル部隊ノ者ニ限ル)ノ外辭セラル
- 二 伺候式ニ關シテハ陸軍禮式第八十六條ニ據リ東京ニ在リテハ東京警備司令官、大阪及小倉ニ在リテハ夫々該地衛戍司令官ヨリ命令セラルルモノトス

第二 服裝

受檢部隊ノ將校同相當官ノ服裝ハ隊伍ニ列セサル軍裝トシ最高勳章一個ヲ佩用スルモノトス

將校同相當官以外ノ者ノ服裝ハ陸軍兵器本廠長之ヲ定ムルモノトス

第三 書類

一 陸軍兵器本廠長ハ別表第一ノ書類ヲ十一月十五日午前九時迄ニ東

京偕行社檢閲官ノ事務所ニ提出スルモノトス

陸軍兵器本廠長ハ前項ノ書類ニ準シ必要ノ書類ヲ指定シ隸下部隊長ヲシテ當該地所在ノ檢閲官ノ事務所又ハ檢閲代行若ハ査閲屬員ノ宿舍ニ提出セシムルモノトス

前項ノ書類提出日時ハ別表第二ノ如シ

二 受檢當日ハ檢閲(査閲)ニ關係アル一切ノ書類(年度別アルモノ昭和七八九年度ノ分)ヲ査閲ニ便ナル如ク適宜ノ場所ニ配列シ置クモノトス但實地査閲ニ關係アル書類ハ書類査閲後成ルヘク定規ノ位置ニ復シ置クモノトス

第四 各部隊ノ檢閲(査閲)ハ通常左ノ順序ニ據ルモノトス

一 部隊長ノ報告

二 試問

三 書類査閲

四 實地査閲

第五 試問ノ際ハ成ルヘク高等官全員、書類及實地査閲ノ際ハ所要ノ關係者之ニ參列スルモノトス

第六 檢閲(査閲)當日ハ檢閲(査閲)ニ差支ナキ限り勉メテ平常ノ通作業ヲ行フモノトス

檢閲官又ハ屬員巡視ノ際危險ナル作業ニ從事スル者ハ敬禮ヲ行ハサルモノトス

第七 陸軍兵器本廠長ハ隸下部隊檢閲ノ際檢閲官ニ隨行スルモノトス但屬員ノ檢閲代行又ハ査閲スル場合ハ此ノ限ニアラス
前項ノ場合佐(尉)官一名ヲ隨行セシムルコトヲ得

右ニ要スル旅費ハ算出明細書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ増額ヲ上申スルモノトス

前記ノ外陸軍兵器本廠長ニ於テ特ニ檢閲(査閲)ニ立會ハシメントスル者アルトキハ檢閲官ノ承認ヲ受クルモノトス但之カ爲豫算ヲ増額セララルコトナシ

第八 一般ニ檢閲(査閲)ノ見學ヲ許サレス

第九 常時受檢部隊ニ在リテ服務セサル者ハ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場スルニ及ハス

東京以外ノ各地検査班ノ者ハ同一衛戍地ノ兵器支廠又ハ兵器本廠出張所ノ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場スルモノトス

第十 受檢各部隊ハ特ニ示スモノノ外受檢前日正午檢閲官(檢閲代行)又ハ査閲(査閲)所在ニ命令受領者ヲ出スモノトス

第十一 講評ハ十二月二十四日東京ニ於テ行ハル但檢閲官又ハ檢閲ヲ代行スル屬員ノ高級先任者ハ所要ニ應シ其ノ都度注意ヲ與ヘラルルコト

アリ

講評出場者ハ在東京部隊ノ職員中特ニ示スモノトス

別表第一

提出書類一覽表

名	稱	部	數
軍需動員計畫ニ關スル準備書類及業務書			
見積書類	(七、八、九年度)		
契約履行ニ關スル關係書類	(七、八、九年度)		
注文票綴	(七、八、九年度)		
物資物價調査綴	(九年度)		
明細支拂豫算書類	(七、八、九年度)		
諸計畫書類	(九年度)		
豫算差引簿	(七、八、九年度)		
歲入徵收簿	(七、八、九年度)		

考 備	<p>前金拂整理簿(七、八、九年度) 廢兵器拂下價格決議書綴 兵器制式ニ關スル發來翰綴 注文品竣工豫定期日調査表(九年度) 檢査受領票綴 兵器新調簿 前金拂差引簿(七、八、九年度) 荷造積載要領、同基準表 定額簿 寄託有價證券整理簿 保管金整理簿 契約金綴 檢査品完納書綴 總豫備兵器受拂配當簿 運搬ニ關スル書類綴 入札關係書類(九年度) 受檢計畫表</p>
<p>本表ノ外必要ナル書類ハ其ノ都度提出セシム</p>	

書類提出日時表

考 備		部 隊		日	時
本表ノ日時ハ多少變更スルコトアリ	東	京	陸軍兵器支廠	十一月十五日	午前九時
	千	葉	陸軍兵器支廠	十一月二十四日	午後二時
	廣	島	陸軍兵器支廠	十一月二十八日	午前九時
	名	古	屋陸軍兵器支廠	十二月二日	午後四時
	陸	軍	兵器本廠平壤出張所	十二月三日	午前九時
	岡	山	陸軍兵器支廠	十二月四日	午後五時
	小	倉	陸軍兵器支廠	十二月八日	午前九時
	大	阪	陸軍兵器支廠	十二月十四日	午前九時

資整檢通第四號

軍需資材整備檢閲ニ關スル件通牒

昭和九年十月二十五日

軍需資材整備檢閲官屬員 山岡重厚

陸軍造兵廠總務部長 中山德治殿

軍需資材整備檢閲ニ關シ左ノ通定メラル

第一 儀式

- 一 儀式ハ檢閲官衛戍地到著ノ際ニ於ケル伺候式(檢閲官ノ直接檢閲セラルル部隊ノ者ニ限ル)ノ外辭セラル
- 二 伺候式ニ關シテハ陸軍禮式第八十六條ニ據リ東京ニ在リテハ東京警備司令官、大阪及小倉ニ在リテハ夫々該地衛戍司令官ヨリ命令セララルモノトス

第二 服裝

受檢部隊ノ將校同相當官ノ服裝ハ隊伍ニ列セサル軍裝トシ最高勳章一
個ヲ佩用スルモノトス

將校同相當官以外ノ者ノ服裝ハ陸軍造兵廠長官之ヲ定ムルモノトス

第三 書類

一 陸軍造兵廠長官ハ別表第一ノ書類ヲ十一月二十日午前九時迄ニ東

京偕行社檢閲官ノ事務所ニ提出スルモノトス

陸軍造兵廠長官ハ前項ノ書類ニ準シ必要ノ書類ヲ指定シ隸下部隊長
ヲシテ當該地所在ノ檢閲官ノ事務所又ハ檢閲代行若ハ査閲屬員ノ宿
舎ニ提出セシムルモノトス

前項ノ書類ノ提出日時ハ別表第二ノ如シ

二 受檢當日ハ檢閲(査閲)ニ關係アル一切ノ書類(年度別アルモノハ昭和
七、八、九年度ノ分)ヲ査閲ニ便ナル如ク適宜ノ場所ニ配列シ置クモノト
ス但實地査閲ニ關係アル書類ハ書類査閲後成ルヘク定規ノ位置ニ復
シ置クモノトス

第四 各部隊ノ檢閲(査閲)ハ通常左ノ順序ニ據ルモノトス

一 部隊長ノ報告

二 試問

三 書類査閲

四 實地査閲

第五 試問ノ際ハ成ルヘク高等官全員、書類及實地査閲ノ際ハ所要ノ關係者之ニ參列スルモノトス

第六 檢閲(査閲)ノ當日ハ檢閲(査閲)ニ差支ナキ限り勉メテ平常ノ通作業ヲ行フモノトス

檢閲官又ハ屬員巡視ノ際危險ナル作業ニ從事スル者ハ敬禮ヲ行ハサルモノトス

第七 陸軍造兵廠長官ハ隸下部隊檢閲ノ際檢閲官ニ隨行スルモノトス但屬員ノ檢閲代行又ハ査閲スル場合ハ此ノ限ニアラス
前項ノ場合佐(尉)官一名ヲ隨行セシムルコトヲ得

前記ノ外陸軍造兵廠長官ニ於テ特ニ檢閲(査閲)ニ立會ハシメントスル者
アルトキハ檢閲官ノ承認ヲ受クルモノトス
但前三項ノ場合豫算ヲ増額セラルルコトナシ

第八 一般ニ檢閲(査閲)ノ見學ヲ許サレス

第九 常時受檢部隊ニ在リテ服務セサル者ハ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場ス
ルニ及ハス

技術部派出所ノ者ハ常時服務スル工廠又ハ製造所ノ伺候式及檢閲(査閲)
ニ出場スルモノトス

第十 受檢各部隊ハ特ニ示スモノノ外受檢前日正午檢閲官(檢閲代行)又ハ

査閲屬員(所在ニ命令受領者)ヲ出スモノトス

第十一 講評ハ十二月二十四日東京ニ於テ行ハル但檢閲官又ハ檢閲代行
屬員ノ高級先任者ハ所要ニ應シ其都度注意ヲ與ヘラルルコトアリ
講評出場者ハ在東京部隊ノ職員中特ニ示スモノトス

別表第一

提出書類一覽表

名	稱	部	數
軍需動員計畫ニ關スル準備書類及業務書			
作業計畫書			(九)年(度)
一般間接費調查表			(八)年(度)
一般間接費集計表			(八)年(度)
豫算ニ用フル材料單價表			(九)年(度)

考 備	材	支拂元受高差引簿	固定資本價格増減表	歳徴入	歳出	歳入歳出決定計算書	見積	契約	器具機械補修實施計畫表	土地建造物補修實施計畫表	製造命令	半途品出納簿	調辨計書	入札關係書類	物價調査表	受檢計書
	調 査 簿	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(八、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)

本表ノ外必要ナル書類ハ其ノ都度提出セシム

書類提出日時表

部	隊	日	時
陸軍造兵廠小倉工廠東京兵器製造所		十一月二十三日	午前九時
陸軍造兵廠火工廠(忠海兵器製造所及岩鼻、宇治火藥製造所ヲ除ク)		十一月二十七日	午後二時
陸軍造兵廠火工廠岩鼻火藥製造所		十一月三十日	午前九時
陸軍造兵廠名古屋工廠		十二月三日	午前九時
陸軍造兵廠平壤兵器製造所		十二月五日	午後七時
陸軍造兵廠忠海兵器製造所		十二月八日	午前九時
陸軍造兵廠小倉工廠		十二月十四日	午前九時
陸軍造兵廠大阪工廠		十二月十八日	午後四時
陸軍造兵廠火工廠宇治火藥製造所			

備考

本表ノ日時ハ多少變更スルコトアリ

資整檢通第四號

軍需資材整備檢閲ニ關スル件通牒

昭和九年十月二十五日

軍需資材整備檢閲官屬員 山岡重厚

陸軍造兵廠總務部長 中山德治殿

軍需資材整備檢閲ニ關シ左ノ通定メラル

第一 儀式

- 一 儀式ハ檢閲官衛戍地到着ノ際ニ於ケル伺候式(檢閲官ノ直接檢閲セラルル部隊ノ者ニ限ル)ノ外辭セラル
- 二 伺候式ニ關シテハ陸軍禮式第八十六條ニ據リ東京ニ在リテハ東京警備司令官、大阪及小倉ニ在リテハ夫々該地衛戍司令官ヨリ命令セララルモノトス

第二 服裝

受檢部隊ノ將校同相當官ノ服裝ハ隊伍ニ列セサル軍裝トシ最高勳章一
個ヲ佩用スルモノトス

將校同相當官以外ノ者ノ服裝ハ陸軍造兵廠長官之ヲ定ムルモノトス

第三 書類

一 陸軍造兵廠長官ハ別表第一ノ書類ヲ十一月二十日午前九時迄ニ東

京偕行社檢閲官ノ事務所ニ提出スルモノトス

陸軍造兵廠長官ハ前項ノ書類ニ準シ必要ノ書類ヲ指定シ隸下部隊長
ヲシテ當該地所在ノ檢閲官ノ事務所又ハ檢閲代行若ハ査閲屬員ノ宿
舎ニ提出セシムルモノトス

前項ノ書類ノ提出日時ハ別表第二ノ如シ

二 受檢當日ハ檢閲(査閲)ニ關係アル一切ノ書類(年度別アルモノハ昭和
七、八、九年度ノ分)ヲ査閲ニ便ナル如ク適宜ノ場所ニ配列シ置クモノト
ス但實地査閲ニ關係アル書類ハ書類査閲後成ルヘク定規ノ位置ニ復
シ置クモノトス

第四 各部隊ノ檢閲(査閲)ハ通常左ノ順序ニ據ルモノトス

一 部隊長ノ報告

二 試問

三 書類査閲

四 實地査閲

第五 試問ノ際ハ成ルヘク高等官全員、書類及實地査閲ノ際ハ所要ノ關係者之ニ參列スルモノトス

第六 檢閲(査閲)ノ當日ハ檢閲(査閲)ニ差支ナキ限り勉メテ平常ノ通作業ヲ行フモノトス

檢閲官又ハ屬員巡視ノ際危險ナル作業ニ從事スル者ハ敬禮ヲ行ハサルモノトス

第七 陸軍造兵廠長官ハ隸下部隊檢閲ノ際檢閲官ニ隨行スルモノトス但屬員ノ檢閲代行又ハ査閲スル場合ハ此ノ限ニアラス
前項ノ場合佐(尉)官一名ヲ隨行セシムルコトヲ得

前記ノ外陸軍造兵廠長官ニ於テ特ニ檢閲(査閲)ニ立會ハシメントスル者アルトキハ檢閲官ノ承認ヲ受クルモノトス

但前三項ノ場合豫算ヲ増額セラルルコトナシ

第八 一般ニ檢閲(査閲)ノ見學ヲ許サレス

第九 常時受檢部隊ニ在リテ服務セサル者ハ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場スルニ及ハス

技術部派出所ノ者ハ常時服務スル工廠又ハ製造所ノ伺候式及檢閲(査閲)ニ出場スルモノトス

第十 受檢各部隊ハ特ニ示スモノノ外受檢前日正午檢閲官(檢閲代行)又ハ査閲屬員(所在ニ命令受領者)ヲ出スモノトス

第十一 講評ハ十二月二十四日東京ニ於テ行ハル但檢閲官又ハ檢閲代行屬員ノ高級先任者ハ所要ニ應シ其都度注意ヲ與ヘラルルコトアリ
講評出場者ハ在東京部隊ノ職員中特ニ示スモノトス

別表第一

提出書類一覽表

名	部	數
軍需動員計畫ニ關スル準備書類及業務書		
作 業 計 畫 (九 年 度)		
一 般 間 接 費 調 査 表 (八 年 度)		
一 般 間 接 費 集 計 表 (八 年 度)		
豫算ニ用フル材料單價表 (九 年 度)		

考 備	材	支拂元受高差引簿	固定資本價格增減表	歲入	徵收	歲入	見積	契積	器具機械補修實施計畫表	土地建造物補修實施計畫表	製造命令	半途出納簿	調品出納簿	入札關係書類	物價調查表	受檢計畫表	
	調	查	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿	簿
	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(七、八年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(八、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)	(九、九年)
	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度

本表ノ外必要ナル書類ハ其ノ都度提出セシム

書類提出日時表

部	隊	日	時
陸軍造兵廠小倉工廠東京兵器製造所		十一月二十三日	午前九時
陸軍造兵廠火工廠(忠海兵器製造所及岩鼻宇治火藥製造所ヲ除ク)		十一月二十七日	午後二時
陸軍造兵廠火工廠岩鼻火藥製造所		十一月三十日	午前九時
陸軍造兵廠名古屋工廠		十二月三日	午前九時
陸軍造兵廠平壤兵器製造所		十二月五日	午後七時
陸軍造兵廠忠海兵器製造所		十二月八日	午前九時
陸軍造兵廠小倉工廠		十二月十四日	午前九時
陸軍造兵廠大阪工廠		十二月十八日	午後四時
陸軍造兵廠火工廠宇治火藥製造所			

備考

本表ノ日時ハ多少變更スルコトアリ

監査 主計 兵器 銃砲 軍需 物資 官 受

八月十九日

陸軍

資整檢通第二三號

軍需資材整備檢閱ニ關スル件通牒送付ノ件

昭和九年十一月十日

軍需資材整備檢閱官屬員 山岡重

陸軍次官 橋本虎之助殿

軍需資材整備檢閱ニ關スル通牒別紙ノ通り通牒ス

永久甲 坊屋

二三八七號

昭和九年十一月十二日 午前六時

別紙一ツツ八
常課三保管ス
十一月廿六日
主計課

課 查 監	
吉野	主計正
井上	主計正
矢野	主計正
澤本	主計正
中村	主計
塚家	主計

陸軍省 9.11.26 持 主計課

陸軍省 9.11.22 第66號 器材課

陸軍省 9.11.27 監査課

陸軍省 9.11.27 監査課

省 16 第46號 動員課

陸軍

資整檢通第二〇號

軍需資材整備檢閲ニ關スル件通牒

昭和九年十一月八日

軍需資材整備檢閲官屬員 山岡重厚

殿

軍需資材整備檢閲ニ關シ左ノ通定メラル

第一 各部隊長ハ資整檢命第一、第二號第三項ニ依リ既ニ提出セル狀況報告ノ補足事項其ノ他必要ナル事項ヲ檢閲官又ハ檢閲代行若ハ査閱屬員ノ高級先任者ニ報告スルモノトス但陸軍兵器本廠長及陸軍造兵廠長官ハ綱紀、人事其ノ他特殊ノ事項ニ關シテハ第一日書類査閱間別室ニ於テ報告スルモノトス

第二 第一ノ報告ニ際シテハ屬員之ニ參列スルモノトス但第一但書ノ場合ニ在リテハ高級屬員(陸軍少將山岡重厚、同多田禮吉)ノミ參列ス

第三 各部隊長ハ別表第一ニ示ス事項ニ關シ成ルヘク印刷物ニ依リ檢閱
(査閱)ニ際シ説明ニ便ナル如ク準備スルモノトス

前項ノ印刷物(三十部)ハ成シ得レハ資整檢通第三、第四號第三ニ示ス書類
提出ノ際提出スルモノトス

第四 檢閱(査閱)ハ通常午前ハ九時、午後ハ一時ヨリ開始スルモノトス

第五 檢閱(査閱)時間配當ノ標準概ネ左ノ如シ

(一) 檢閱(査閱)ニ二日ヲ豫定セラレタル部隊

第一日

部隊長ノ報告 三十分

試問 一時間三十分

書類査閱 四時間

但陸軍兵器支廠ハ試問及書類査閱ヲ合シ三時間三十分トシ殘餘
ノ時間ハ實地査閱ニ配當ス

第二日

書類査閲

六時間

(陸軍兵器本廠
陸軍造兵廠各部)

實地査閲

六時間

(各陸軍兵器支廠
陸軍造兵廠各工廠)

但東京陸軍兵器支廠ニ在リテハ午後一時ヨリ機能検査ヲ併ハセ
行フモノトス

(二) 檢閲(査閲)ニ一日ヲ豫定セラレタル部隊

部隊長ノ報告 三十分

試問 一時間

書類査閲 一時間三十分

實地査閲 三時間

(三) 陸軍造兵廠火工廠(岩鼻)宇治火藥製造所及忠海兵器製造所ヲ除ク

十一月二十四日

工廠長ノ報告 三十分

試問 一時間三十分

書類査閲 四時間

十一月二十五日

實地査閲(火工廠各課ヲ含ム) 六時間

十一月二十六日

實地査閲

三時間

第六 實地査閲間書類査閲ヲ行ヒ或ハ檢閲(査閲)進捗ノ度ニ依リ要スレハ前記ノ配當時間ヲ變更シ又ハ一部ノ屬員ヲシテ豫定日割以外ニ査閲セシムルコトアルモノトス

第七 試問ニ際シテハ特ニ指定スル場合ノ外適宜主務者又ハ其ノ代理者之ニ答フルモノトス

第八 書類査閲ハ別表第二ノ區分ニ依リ行フモノトス

書類ハ概ネ右區分ニ應スル如ク配列スルモノトス但ニ班以上ニ關係ヲ有スルモノハ最モ關係大ナル班ノ査閲ニ便ナル如ク配列スルモノトス

第九 實地査閲ニ當リテハ事務所、倉庫、彈藥庫、工場、作業場運輸設備等必要ナル箇所ハ通常全部巡視スルモノトス但第五ニ示ス配當時間内ニ巡視

シ得サル部隊ニ在リテハ二又ハ三班ヲ以テ同時ニ巡視スルモノトス
各部隊長ハ巡視ノ經路方法及時間等ヲ定メ受檢計畫表ト共ニ提出スル
モノトス

準備事項一覽表

陸軍兵器廠

- 一 契約解除及特別採用ノ狀況
- 二 兵器圖、仕様書等ノ變更遲延ノ爲納期遲延其ノ他調辨ニ影響ヲ及ホシタル狀況
- 三 從來一般競争ニ付シタルモノヲ指名競争又ハ隨意契約ニ改メタルモノノ事例及效果

陸軍造兵廠

- 一 契約解除及特別採用ノ狀況
- 二 兵器圖、仕様書等ノ變更遲延ノ爲作業ニ影響ヲ及ホシタル狀況
- 三 制式規格製造方式等ノ改正ニ依リ能率ヲ増進シタル狀況
- 四 工廠ニ依リ同一品種ノ生産實費ニ差異ナキヤアラハ其ノ事由
- 五 狀況報告屬表第十二表「主要製造品ノ代價ト生産費トノ對照表」ノ各年度ノ品

種別生産數量

六 昭和七、八年度半途品出納ニ就キ工廠
毎ニ左ノ事項

1 前年度繰越高

2 材料受入額

3 工金受入額

4 生産傳票發行額

5 生産傳票發行額中決算未済額

6 翌年度繰越額

七 民間工業能力等ノ見地ヨリ將來造兵廠
設備ノ整理充實ニ關スル意見

考 備

一 陸軍兵器本廠長及陸軍造兵廠長官ハ本表ノ事項ニシテ支廠、工廠ニ關係スルモノニ關シテハ支廠、工廠ヲシテ準備セシムルモノトス

二 本表ノ事項ハ特ニ示スモノノ外昭和八、九年度(七月末迄)ノ分ニ就キ勉メテ具體的ニ記載スルモノトス但品種、金額等ノ複雑ナルモノハ適宜概括スルコトヲ得

書類査閲區分表

考 備	班 四 第	班 三 第	班 二 第	班 一 第	班 別	査 閲 區 分 表		
					屬 員	陸 軍 兵 器 廠	陸 軍 造 兵 廠	
<p>一 「ケ」ハ兼務ヲ示ス</p> <p>二 本表ハ陸軍兵器本廠及陸軍造兵廠各部檢閲ノ基準ヲ示シタルモノニシテ支廠、工廠ノ檢閲ニ當リテハ概ネ本表ニ準スルモノトス</p> <p>三 本表ノ區分ハ多少變更スルコトアリ</p> <p>四 屬員ノ檢閲代行又ハ査閲スル場合ハ本表ニ據ラサルモノトス</p>	<p>ケ 西大條少佐</p> <p>ケ 朝野少佐</p> <p>ケ 吉田少佐</p> <p>ケ 瀧川主計正</p> <p>ケ 野村大尉</p> <p>ケ 幸道大尉</p> <p>ケ 馬淵大尉</p>	<p>ケ 朝野少佐</p> <p>ケ 森本少佐</p> <p>ケ 矢野主計正</p> <p>ケ 野村大尉</p> <p>ケ 西村大尉</p> <p>ケ 馬淵大尉</p>	<p>ケ 秋山中佐</p> <p>ケ 武田少佐</p> <p>ケ 佐藤少佐</p> <p>ケ 木村主計正</p> <p>ケ 高谷主計正</p> <p>ケ 矢野主計正</p> <p>ケ 金織主計正</p>	<p>ケ 森本少佐</p> <p>ケ 宮脇少佐</p> <p>ケ 眞田少佐</p> <p>ケ 野村大尉</p> <p>ケ 馬淵大尉</p>	陸 軍 兵 器 廠	陸 軍 造 兵 廠	<p>一 職員以下ノ服務狀態</p> <p>二 整備資材ノ機能ノ狀態</p>	
	<p>一 軍動員計畫</p> <p>二 軍需動員計畫</p> <p>三 格納貯藏ノ狀態</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>2. 検査ニ關スル事項</p> <p>3. 運搬輸送並運搬費ノ調査ニ關スル事項</p> <p>4. 過剩兵器、廢兵器、不制式兵器等ノ利用處分ニ關スル事項</p> <p>5. 他部隊トノ連繫ニ關スル事項</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>2. 検査ニ關スル事項</p> <p>3. 運搬輸送並運搬費ノ調査ニ關スル事項</p> <p>4. 過剩兵器、廢兵器、不制式兵器等ノ利用處分ニ關スル事項</p> <p>5. 他部隊トノ連繫ニ關スル事項</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 官業、民業ノ配當ニ關スル事項</p> <p>2. 調辨ニ關スル事項</p> <p>3. 物資、物價等ノ調査ニ關スル事項</p> <p>4. 未受領兵器ニ關スル事項</p> <p>二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況</p>	<p>一 職員以下ノ服務狀態</p> <p>二 整備資材ノ機能ノ狀態</p>	陸 軍 造 兵 廠	陸 軍 造 兵 廠	<p>一 資材整備ニ關スル作業經營ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 全般ノ作業計畫及實施ニ關スル事項</p> <p>2. 民業ノ利用及官業トノ連繫ニ關スル事項</p> <p>3. 調辨ニ關スル事項</p> <p>4. 物資、物價ノ調査及生産費、定價ニ關スル事項</p> <p>5. 原料、材料及半途品ニ關スル事項</p> <p>二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況</p>
	<p>一 軍動員計畫</p> <p>二 格納貯藏ノ狀態</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 能率増進ニ關スル事項</p> <p>2. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>3. 検査ニ關スル事項</p> <p>4. 設備ニ關スル事項</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 能率増進ニ關スル事項</p> <p>2. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>3. 検査ニ關スル事項</p> <p>4. 設備ニ關スル事項</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 官業、民業ノ配當ニ關スル事項</p> <p>2. 調辨ニ關スル事項</p> <p>3. 物資、物價等ノ調査ニ關スル事項</p> <p>4. 未受領兵器ニ關スル事項</p> <p>二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況</p>	<p>一 職員以下ノ服務狀態</p> <p>二 整備資材ノ機能ノ狀態</p>	陸 軍 造 兵 廠	陸 軍 造 兵 廠	<p>一 資材整備ニ關スル作業經營ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 全般ノ作業計畫及實施ニ關スル事項</p> <p>2. 民業ノ利用及官業トノ連繫ニ關スル事項</p> <p>3. 調辨ニ關スル事項</p> <p>4. 物資、物價ノ調査及生産費、定價ニ關スル事項</p> <p>5. 原料、材料及半途品ニ關スル事項</p> <p>二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況</p>
	<p>一 軍動員計畫</p> <p>二 格納貯藏ノ狀態</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 能率増進ニ關スル事項</p> <p>2. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>3. 検査ニ關スル事項</p> <p>4. 設備ニ關スル事項</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 能率増進ニ關スル事項</p> <p>2. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>3. 検査ニ關スル事項</p> <p>4. 設備ニ關スル事項</p>	<p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 官業、民業ノ配當ニ關スル事項</p> <p>2. 調辨ニ關スル事項</p> <p>3. 物資、物價等ノ調査ニ關スル事項</p> <p>4. 未受領兵器ニ關スル事項</p> <p>二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況</p>	<p>一 職員以下ノ服務狀態</p> <p>二 整備資材ノ機能ノ狀態</p>	陸 軍 造 兵 廠	陸 軍 造 兵 廠	<p>一 資材整備ニ關スル作業經營ノ狀態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 全般ノ作業計畫及實施ニ關スル事項</p> <p>2. 民業ノ利用及官業トノ連繫ニ關スル事項</p> <p>3. 調辨ニ關スル事項</p> <p>4. 物資、物價ノ調査及生産費、定價ニ關スル事項</p> <p>5. 原料、材料及半途品ニ關スル事項</p> <p>二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況</p>

資整檢通第二〇號

軍需資材整備檢閲ニ關スル件通牒

昭和九年十一月八日

軍需資材整備檢閲官屬員 山岡重厚

殿

軍需資材整備檢閲ニ關シ左ノ通定メラル

第一 各部隊長ハ資整檢命第一、第二號第三項ニ依リ既ニ提出セル狀況報告ノ補足事項其ノ他必要ナル事項ヲ檢閲官又ハ檢閲代行若ハ查閱屬員ノ高級先任者ニ報告スルモノトス但陸軍兵器本廠長及陸軍造兵廠長官ハ綱紀、人事其ノ他特殊ノ事項ニ關シテハ第一日書類查閱間別室ニ於テ報告スルモノトス

第二 第一ノ報告ニ際シテハ屬員之ニ參列スルモノトス但第一但書ノ場合ニ在リテハ高級屬員(陸軍少將山岡重厚、同多田禮吉)ノミ參列ス

第三 各部隊長ハ別表第一ニ示ス事項ニ關シ成ルヘク印刷物ニ依リ檢閱
(査閱)ニ際シ説明ニ便ナル如ク準備スルモノトス
前項ノ印刷物(三十部)ハ成シ得レハ資整檢通第三、第四號第三ニ示ス書類
提出ノ際提出スルモノトス

第四 檢閱(査閱)ハ通常午前ハ九時、午後ハ一時ヨリ開始スルモノトス

第五 檢閱(査閱)時間配當ノ標準概ネ左ノ如シ

(一) 檢閱(査閱)ニ二日ヲ豫定セラレタル部隊

第一日

部隊長ノ報告 三十分

試問 一時間三十分

書類査閱 四時間

但陸軍兵器支廠ハ試問及書類査閱ヲ合シ三時間三十分トシ殘餘
ノ時間ハ實地査閱ニ配當ス

第二日

書類査閲 六時間 (陸軍兵器本廠
陸軍造兵廠各部)

實地査閲 六時間 (各陸軍兵器支廠
陸軍造兵廠各工廠)

但東京陸軍兵器支廠ニ在リテハ午後一時ヨリ機能検査ヲ併ハセ
行フモノトス

(二) 檢閲(査閲)ニ一日ヲ豫定セラレタル部隊

部隊長ノ報告 三十分

試問 一時間

書類査閲 一時間三十分

實地査閲 三時間

(三) 陸軍造兵廠火工廠(岩鼻、宇治火藥製造所及忠海兵器製造所ヲ除ク)

十一月二十四日

工廠長ノ報告 三十分

試問 一時間三十分

書類査閲 四時間

十一月二十五日

實地査閲(火工廠各課ヲ含ム) 六時間

十一月二十六日

實地査閲

三時間

第六 實地査閲間書類査閲ヲ行ヒ或ハ檢閲(査閲)進捗ノ度ニ依リ要スレハ前記ノ配當時間ヲ變更シ又ハ一部ノ屬員ヲシテ豫定日割以外ニ査閲セシムルコトアルモノトス

第七 試問ニ際シテハ特ニ指定スル場合ノ外適宜主務者又ハ其ノ代理者之ニ答フルモノトス

第八 書類査閲ハ別表第二ノ區分ニ依リ行フモノトス

書類ハ概ネ右區分ニ應スル如ク配列スルモノトス但ニ班以上ニ關係ヲ有スルモノハ最モ關係大ナル班ノ査閲ニ便ナル如ク配列スルモノトス

第九 實地査閲ニ當リテハ事務所、倉庫、彈藥庫、工場、作業場運輸設備等必要ナル箇所ハ通常全部巡視スルモノトス但第五ニ示ス配當時間内ニ巡視

シ得サル部隊ニ在リテハ二又ハ三班ヲ以テ同時ニ巡視スルモノトス
各部隊長ハ巡視ノ經路方法及時間等ヲ定メ受檢計畫表ト共ニ提出スル
モノトス

準備事項一覽表

陸軍兵器廠

- 一 契約解除及特別採用ノ狀況
- 二 兵器圖、仕様書等ノ變更遲延ノ爲納期遲延其ノ他調辨ニ影響ヲ及ホシタル狀況
- 三 從來一般競争ニ付シタルモノヲ指名競争又ハ隨意契約ニ改メタルモノノ事例及效果

陸軍造兵廠

- 一 契約解除及特別採用ノ狀況
- 二 兵器圖、仕様書等ノ變更遲延ノ爲作業ニ影響ヲ及ホシタル狀況
- 三 制式規格製造方式等ノ改正ニ依リ能率ヲ増進シタル狀況
- 四 工廠ニ依リ同一品種ノ生産實費ニ差異ナキヤアラハ其ノ事由
- 五 狀況報告屬表第十二表「主要製造品ノ代價ト生産費トノ對照表」ノ各年度ノ品

種別生産數量

六 昭和七、八年度半途品出納ニ就キ工廠
毎ニ左ノ事項

- 1 前年度繰越高
- 2 材料受入額
- 3 工金受入額
- 4 生産傳票發行額
- 5 生産傳票發行額中決算未済額
- 6 翌年度繰越額
- 七 民間工業能力等ノ見地ヨリ將來造兵廠
設備ノ整理充實ニ關スル意見

備 考

- 一 陸軍兵器本廠長及陸軍造兵廠長官ハ本表ノ事項ニシテ支廠、工廠ニ關係スルモノニ關シテハ支廠、工廠ヲシテ準備セシムルモノトス
- 二 本表ノ事項ハ特ニ示スモノノ外昭和八、九年度(七月末迄)ノ分ニ就キ勉メテ具體的ニ記載スルモノトス但品種、金額等ノ複雑ナルモノハ適宜概括スルコトヲ得

書類査閲區分表

班別	第 一 班	第 二 班
屬 員	ケ 森 本 少 佐 宮 脇 少 佐 眞 田 少 佐 ケ 野 村 大 尉 ケ 馬 淵 大 尉	秋 山 中 佐 武 田 少 佐 佐 藤 少 佐 木 村 主 計 正 高 谷 主 計 正 矢 野 主 計 正 金 織 主 計 正
陸 軍 兵 器 廠 査 閲	一 職員以下ノ服務狀態 二 整備資材ノ機能ノ狀態	一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ狀態中主トシテ左ノ事項 1. 官業、民業ノ配當ニ關スル事項 2. 調辨ニ關スル事項 3. 物資、物價等ノ調査ニ關スル事項 4. 未受領兵器ニ關スル事項 二 資材整備ニ關スル豫算使用ノ狀況
陸 軍 造 兵 廠 事 項	一 職員以下ノ服務狀態 二 勞務ニ關スル事項	一 資材整備ニ關スル作業經營ノ狀態中主トシテ左ノ事項 1. 全般ノ作業計畫及實施ニ關スル事項 2. 民業ノ利用及官業トノ連繫ニ關スル事項 3. 調辨ニ關スル事項 4. 物資、物價ノ調査及生産費、定價ニ關スル事項 5. 原料、材料及半途品ニ關スル事項 二 資材整備ニ關スル豫算使用

考 備	第 四 班	第 三 班	
<p>一 「ケ」ハ兼務ヲ示ス</p> <p>二 本表ハ陸軍兵器本廠及陸軍造兵廠各部檢閲ノ基準ヲ示シタルモノニシテ支廠、工廠ノ檢閲ニ當リテハ概ネ本表ニ準スルモノトス</p> <p>三 本表ノ區分ハ多少變更スルコトアリ</p> <p>四 屬員ノ檢閲代行又ハ査閱スル場合ハ本表ニ據ラサルモノトス</p>	<p>西大條少佐</p> <p>朝野少佐</p> <p>吉田少佐</p> <p>瀧川主計正</p> <p>野村大尉</p> <p>幸道大尉</p> <p>馬淵大尉</p> <p>一 軍動員計畫</p> <p>二 軍需動員計畫</p> <p>三 格納貯藏ノ状態</p> <p>一 軍需動員計畫</p> <p>二 格納貯藏ノ状態</p>	<p>朝野少佐</p> <p>森本少佐</p> <p>矢野主計正</p> <p>野村大尉</p> <p>西村大尉</p> <p>馬淵大尉</p> <p>一 資材整備ニ關スル計畫及實施ノ状態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>2. 檢査ニ關スル事項</p> <p>3. 運搬輸送並運搬費ノ調査ニ關スル事項</p> <p>4. 過剩兵器、廢兵器、不制式兵器等ノ利用處分ニ關スル事項</p> <p>5. 他部隊トノ連繫ニ關スル事項</p> <p>一 資材整備ニ關スル作業經營ノ状態中主トシテ左ノ事項</p> <p>1. 能率増進ニ關スル事項</p> <p>2. 民間工場ノ監督ニ關スル事項</p> <p>3. 檢査ニ關スル事項</p> <p>4. 設備ニ關スル事項</p>	<p>ノ 状 況</p>

第一臨時祭委員以下任命

三月廿八日陸軍ニ在リテハ步兵大佐牛島滿以下十一名、海軍ニ在リテハ海軍大佐田結繩以下八名ニ請願社臨時祭委員ヲ命セラレ又同委員附トシテ陸軍

永久申 核以

政務次官回付 決裁前後連帶
參與官回付 決裁後課名

決行(決裁)後
回覽課名

保存期限

決裁指定

決行指定

牛島

局長

受領番

第一二九二

起元廳(課)名

新聞班

件名 國防思想普及用映画再検閲ニ關スル件

大臣

次官

高級副官

牛島

主務副官

局長

政務次官

參與官

書記官

審案
筆記者

主務局長

主務課長

主務課員

局長

主務局

連帶

局長 班任名及之自少修

新聞班

局長

局長

領受

昭和十年六月二十六日

決行後

局長

局長

局長

局長

領受

昭和十年六月廿六日

決行後

局長

局長

局長

局長

了結

昭和九年九月五日

決行後

局長

局長

局長

局長

大臣官房

決行後

局長

局長

局長

局長

副官ヨリ各師團（第三、第九、第十六、第十九、第二
ヲ除ク）參謀長及第三、第九、第十六師團留守參
謀宛通牒

國防思想普及用トシテ貴師團備付ノ爲配布セシ
左記映画内務省檢閲有効期間終了セルニヨリ再
檢閲申請スヘキニ付至急新聞班宛送付相成度
追テ再檢閲ニ關シテハ左ノ如ク承知相成度
一、再檢閲ニ要スヘキ費用ハ總テ當省負擔トス
ヘキモ往復送料ハ貴部負擔ノコト
二、破損セルフィルムハ必ラス修理ヲ完了シアルコト

命令

大田田辭職以下八名ニ敵國軍部職員ヲ命セリ又同委員團員ニテ陸軍
三民廿八日陸軍ニ送リテハ陸軍大臣中島藏以下十一名、陸軍ニ送リテハ陸軍

陸軍大臣中島藏以下十一名

○ 陸軍省ニ關スル事項

○ 一、海軍省ノ事務ノ整理、憲兵及警察官ニ關スル事項、

○ 陸軍省ノ事務ノ整理

三、檢閲臺本ヲ添付スルコト

四、破損甚シク又ハ既ニ廢品トナレルモノハ送付ニ及ハス其旨通牒アリ度但貴部國防思想普及費ヲ以テ新品ヲ補填セントスル希望アラハ便宜取計フモノトス

左記 陸普第三六三三號 昭和十年六月廿七日

一、ソヒエットロシア労働祭觀兵式

全二卷

二、漫画の列國陸軍

全三卷

三、滿洲事變

全四卷

四、米國陸軍航空大演習

全十二卷

五、海軍省事務整理

全四卷

陸軍省

大皇后陛下傷病兵御慰問

全四卷

四米谷海軍計空大威督

全十六卷

三崙州事錄

全四卷

二、數画の図録

全三卷

一、シロヒトコトクニシテ海軍艦隊

全二卷

法 信

海軍三六三三

昭和十一年六月廿七日

海軍中將ノカノトク

又費カスニテ海軍ノ勲章カノトクニテ海軍中將ノカノトク

又ハス其ノ目録ノ勲章アリテ海軍中將ノカノトクニテ海軍中將ノカノトク

四、海軍中將ノカノトクニテ海軍中將ノカノトクニテ海軍中將ノカノトク

三、海軍中將ノカノトクニテ海軍中將ノカノトクニテ海軍中將ノカノトク

4 寫眞撮影ニ關スル事項

5 一般ノ取締、車馬ノ整理、憲兵及警察官ニ關スル事項

6 消防ニ關スル事項

甲輯第四類 其一目次

警保徴發隊車新安塔碑

編次番號

件

名

形式
主務
年
後
番號

一 要塞近傍圖謄寫1件

二 都市計畫用地圖印刷1件

三 ライジングサン石油會社重油タンク築造取締
関件

四 要塞地帯内秘密地圖復寫並謄寫関件

通	部令	部令	部令	部令	部令
防備	動員	軍事	軍事	軍事	軍事
九	一〇	九	九	九	九
全	全	全	全	全	全
三六二六	二二六	三八三〇	五四八	八五三	六三六
合	合	合	合	合	合

五	要塞地帯内家屋、寫真入手、件	指	防備	一〇	壹	五三二	合
六	要塞地帯内地形圖調製、件	指	令	一〇	肆	三三三	合
七	秘密地圖謄寫、関スル件	照	軍事	九	壹	一〇〇八	合
八	要塞地帯内地圖、関スル件	指	防備	一〇	肆	三五五	合
九	國情調査、疑アル照會、関スル件	回	動員	一〇	壹	八五三	合
一〇	昭和十年度、於テ保護自動車豫定數輛、件	集	令	一〇	貳	六三六	合

甲種第四號 第一頁

▲

▲

陸 軍

一 一 名古屋港ニ関スル件 関スル件

一 二 國情調査利用ノ虞アル雜誌注文ニ関スル件 関スル件

一 三 秘密地圖複寫ニ関スル件 既取服並ニ取戻

一 四 要塞地帯等ノ國勢調査ニ関スル件 関スル件

一 五 要塞地帯内地形圖調製ノ件 既取服並ニ取戻

一 六 要塞地帯内及秘密地圖区域地形圖調製ノ件 関スル件

通 動員 一〇 壹 二二九 合

回 陸軍 一〇 壹 一四五〇 合

報 陸軍 一〇 壹 一四五七 合

通 防備 一〇 合 一四四四 合

指 陸軍 一〇 野 七〇三 合

陸 陸軍 一〇 合 七九四 合

二二	二一	二〇	一九	一八	一七
西安塞地帯地圖發行ニ関スル件	静岡縣網代下田間工事寫真撮影ニ関スル件	保護自動車資格有効期限延期並名枚変更ニ関スル件	各部隊ニ於テノ創意工夫ニ関スル件	對馬西安塞地帯新設並之伴ノ禁止制浪解洋區域改正ニ関スル件	西安塞地帯内寫真檢閲ニ関スル件
通	回	告	通	照	通
防備	軍事	實業	兵務	令	防備
一〇	一〇	一〇	八	九	一〇
令	令	令	令	令	令
一五九之	一四四六	一六三一	三〇九四	一三〇〇 他一	九一六
合	合	合	合	合	合

二三 八幡浜市街地圖發行 三冊 三件

二四 關東州防衛不逞造物地帯内地圖模寫 三冊 三件

二五 舞鶴要港境域改正 一冊 一件

二六 澎湖島附近遊難所設置 三冊 三件

二七 地震並氣象調查書交換 三冊 三件

二八 西女塞地帯及秘密地圖謄寫圖檢閱 一件

通 防備 一 壹 一七二 合

指 全 一 參 五〇七 合

回 全 一 壹 一五八 合

通 令 一 全 二一四 合

回 勳員 一 全 二二六 合

通 防備 一 全 一九七 合

三九	秘密地圖區域内作製圖檢閲件 件	通	防備	一〇	壹	三三八	合
三〇	廣島港修築工事平面圖複寫之件 件	回	全員	一〇	全	二七六四	合
三一	秘密地圖謄寫之件 件	通	全	一〇	肆	一五五三 他	合
三二	壓縮ガス及液化ガス取締法施行令改正試 案ニ関スル件	回	銃砲	一〇	壹	二五三四	合
三三	要塞地帯内秘密地圖區域内一般圖調製件 件	通	防備	一〇	肆	一六三四	合
三四	八幡浜市附近秘密地圖印刷之件 件	全	全	一〇	壹	二八七六	合

陸

員

三五 新聞記事發表五ラジヲ放送ニ関スル件

回

新聞

一〇

録

二〇九一

合

三六 閩東州防衛不宮造物地帯秘密地圖複製ニ関スル件

照

防備

一〇

参

六八五

合

三七 外國人ノ港灣狀況調査ニ関スル件

回

動員

一〇

壹

三五八四

合

三八 西安基地近傍前拾萬分一帝國圖伸寫ニ関スル件

合

防備

一〇

全

三五六七

合

國民精神... 提議... 閣下... 專...

保存期限

決裁指定

決行指定



第一

政務大官
參與官
回付
決裁
前後
連帶
課名

決行(決裁)後
回覽課名

件名
壹第五四八號
要塞近傍圖騰寫件
和歌山縣

永久甲 認係

陸軍

大臣
委

大房官		主務局課			大臣 委				件名
了結	領受	出提	領受	號番	政務	次官	主務局長	受領號	
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 九年 二月 二日	昭和 年 月 日	軍務 部 第 二 〇 二 號	政務 次官	次官	主務局長		
(裁決)行決 覽回後		連帶			參與官		參與官		起元應(課)名
長局		長局			高級副官		主務局長		和歌山縣
長課		長課			書記官		主務副官 官房御用掛		
					書記官		主務課員		
					審案		主務課員		
					審案		主務課員		
					審案		主務課員		
					審案		主務課員		
					審案		主務課員		



審案
筆記者

副官ヨリ和歌山縣知事へ回答案(由良要塞司令陸普)
二月十九日附土第ハ口號ヲ以テ稟請首題ノ件承認セラレシニ付由良要塞司令部ノ指示監督ノ下ニ騰寫セラレ度依命回答ス

陸普第一二六七號 昭和九年三月五日

副官ヨリ由良要塞司令官へ通牒案(陸普)
二月二十一日附貴部經由第一號首題ノ件承認セラレシニ就テハ貴部副申由地第大口號ノ條件ニ據リ騰寫セシメラレ度依命通牒ス

陸普第一二六七號 昭和九年三月五日

e 諸物品の購買の當入及人夫の掛合等ニ關スル事實

陸軍省

第一五〇八號

二月廿三日

由	陸軍省
受	陸軍省
送	陸軍省
日	昭和九年二月二十日
由	陸軍省
送	陸軍省

土第八〇號

昭和九年貳月拾九日

陸軍省
9.2.23
軍事課

和歌山縣

和歌山縣知事 清水良策

陸軍大臣 陸軍大將 林銑十郎 殿

和歌山縣知事
清水良策

秘密圖謄寫ニ關スル件

道路、河川、港灣等土木工事施設計畫上必要有之候就テハ陸地測量部調製ニ係ル五萬分ノ壹秘密地圖左記ニ依リ謄寫致度候條御承認相成度此段及稟請候

記

一事項 陸地測量部調製五萬分ノ壹圖謄寫

二目的 土木工事施設計畫ニ使用

三日時 承認後十日以内

謄寫致度候條御承認相成度

陸軍省

軍事

軍事

四、謄寫圖 五萬分ノ壹「和歌山」

五、現示程度

謄寫ノ程度ハ道路、河川、港灣、市町村ノ境界並人家、地名及單ニ平地部、山間部ノ區分等ヲ知り知ル程度ニシテ五萬分ノ壹圖ニ記載セル土地ノ高低、海面ノ深淺、海岸ノ岩石又ハ海濱地ヲ表示セル線等ハ絶體ニ謄寫セス

由地 第六〇號



左記條件ヲ附シ許可差支ナキモノト認ムルニ付副申ス
左記

- 一、謄寫ハ當司令部ニ於テ責任者監視ノ下ニ行ハシム
- 二、謄寫現示ノ程度ハ願書第五項ニ依ルモ目的以外ノ事項ハ可成省略セシム
- 三、特ニ西脇野村字西ノ庄多奈川村字谷川ヲ連スル線以西ハ要塞地帯重要部分ニ付描画ヲ概要ニ止メシメ且ツ防禦營造物並ニ之ニ近接セル地物ヲ描寫セシメス
- 四、寫圖ノ數ハ必要ノ最少限トシ複寫セサルコト
- 五、寫圖ハ秘密ノ取扱ヲ爲シ其ノ保管ハ陸軍機(秘)密書類取扱手續ニ準據セシム

昭和九年 貳月 廿五日

由良要塞司令官清水喜



陸軍省 第五四八號

由地 九 號



陸軍

要塞近傍謄寫圖貸與ノ件通牒

由良要塞司令官森田

陸軍省副官牛島滿殿

昭和拾年壹月拾壹日

昭和九年三月五日陸普第一二六七號ヲ以テ和歌山縣知事ニ對シ秘密地圖謄寫許可相成ニ處昨年十二月十一日復寫完了シ左記ノ通リ處置セシニ付通牒ス

左記

謄寫原圖 壹部 (當部ニ於テ燒却)

復寫圖面 大部 (一部當部ニ保管ニ部貸與)

由 昭和十年一月九日
 要 月 日
 司 部 經 由 第 一 號



和歌山縣

借 用 證 書

一 秘 密 圖 五 部

但五萬分ノ一「和歌山」青寫真

右土木工事施設計畫用トシテ貸與相受候ニ付爲後日本證書差出候也

昭和九年拾貳月拾壹日

和歌山縣知事 藤岡長

和



陸軍大臣 林 銑十郎 殿

官二、陸軍總督府警察官正、關東廳警察官一、南滿洲鐵道株式會社社員二二
 合部より、人員、今回、奉送關於省警軍十六三、警軍二〇、代送省警察

保存期限

決裁指定

局長委任

決行指定



政務次官 回付 決裁前後連帶
 參與官 課名

決行(決裁)後
 回覽課名

受領番號

壹第五四八號

起元廳(課)名

和歌山縣

件名

秘密地圖謄寫之關スル件

大臣



政務次官



主務局長



參與官

高級副官

主務課長



書記官

主務副官
 官房御用掛

主務課員



審案
 筆記者



主務局長

受領番號

昭和 年 月 日

連帶

局長

課長

大臣官房

受領

昭和 年 月 日

決行(決裁)後
 回覽

局長

課長

陸軍省

副官ヨリ和歌山縣知事へ回答書(由良要塞司令部陸普)
五月十一日附土第八〇號稟請首題ノ件左記條件
ヲ以テ承認セラレタルニ付依命回答ス
追テ貴廳ヨリ送付ノ謄寫圖ハ検閲済ニ付返
送ス

左記

陸普第四九七一號 昭和九年八月拾七日

一、石版印刷部數ハ五部トシ由良要塞司令部ニ
於テ同部員監督ノ下ニ行ヒ印刷終了後原
圖ハ由良要塞司令部ニ返納スルコト
二、印刷圖ノ取扱(別紙)陸軍機(秘)密書類取扱手續
ニ據ルコト

社官司ニ通達ス

合祀セラレタル人員ハ今回ノ事變關係者陸軍七六三、海軍二〇、外務省警察

官二、朝鮮總督府警察官五、關東廳警察官一、南滿洲鐵道株式會社社員二二

新着列英一冊ノ一四名ニシテ三月十九日合祀仰出サレ之等名遺族ニ對シ合
祀通知並ニ參拜案内狀ハ三月三十日迄ニ發送セリ（維新殉難者一名ハ四月六
日合祀仰出サレ即日發送ス）

副官ヨリ由良要塞司令官へ通牒案
五月二十二日附貴部經由第二號首題ノ件承認セ
ラレ別紙ノ通牒回答致シ置キタルニ付可然取計ハ
レ度依命通牒ス

陸普第四九七一號 昭和九年八月拾七日

陸軍

軍事

陸軍省 第五〇八號 第三

由地 第三〇九號



陸軍

秘密地圖謄寫部數ニ関スル件通牒

昭和九年八月參日

陸軍省副官牛島滿殿 由良要塞司令官清水



六月九日陸普第三五七八號ヲ以テ通牒ニ係ル首
題ノ件和歌山縣當局ト折衝ノ結果必要部數五
部ト申出アリタルニ付通牒ス

保存期限	決裁指定	決行指定
------	------	------

大臣委	政務次官	局長	主務局長	主務副官	審案
	事務次官	主務副官	主務課員	書記官	筆記者
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案
事務局長	主務局長	高級副官	主務課員	書記官	審案

政務次官 回付 決裁前連帶

決行(決裁)後 回覽課名

件名 秘密地圖謄寫ニ関スル件
 番號 壹第五四八號
 起元廳(課)名 和歌山縣

主務局長 昭和三十九年六月九日
 事務局長 昭和三十九年六月九日
 主務副官 昭和三十九年六月九日
 主務課員 昭和三十九年六月九日

連帶 局長
 決行後 局長
 決行後 局長

陸軍

副官ヨリ由良要塞司令官へ通牒案(陸普)
五月二十二日附費部經由第二號首題ノ件右版
印刷部數百部ハ多キニ過クルヲ以テ費部ニ
於テ該圖必要ノ實狀ヲ調査研究ノ上印刷部
數ヲ極力減少セシムル如ク豫備局卜折衝之報
告セラレ度(從來陸地測量部印刷ノモノニテ十部
以上貸與セル例ナシ)而シテ然ル後處理スルコト卜
相成タルニ付依命通牒ス

陸普第三五七八號

昭和九年六月九日



四月廿六日 遊 庭 友 (隊十抽)

八 遊 庭 友 (隊十抽) 遊 庭 友 (隊十抽)

(一) 今回ハ行幸ナキヤ以テ遊庭園給言ハ限ニ同書給出ヤ與テ又同書心懸ク

秘密地圖謄寫ニ關スル件副申

(一) 別紙謄寫圖ハ新國縣道ヲ附記シ又西脇野村字西ノ庄多
奈川村字谷川ノ各東端ヲ連スル線以西ハ二十万ニ地圖
ヲ伸寫シタルモノトス

(二) 調製部數ハ多キニ過クルモノト認スルニ付取捨ノ上指令相
成度



(一誠) 伊東軍需品會社印行

昭和九年五月 由良要塞司令官清水喜

陸 軍

異 在 ナリ
調製部數ハ先例ニテ決定セラルニ
方 備 課

印刷ハ要塞司令部員五人會ノ下ニ於テ行ヒ
終了後 原圖ヲ引上ク
回ニ本年二月要塞司令部 副申五ニ據
部數制限ヨリモ官區期間限定期間後ノ確実九引上ノ重視
司令官部ヲシテ官狀ニ即シ研究折衝セシメ先後
之ニ一測量部印刷ノモノニテ十部以上官區也例ナシ

多々謀本部 書

二就テ

由良要塞司令部經由

昭和九年五月十五日

物件別送

和歌山縣

由要司
5.5.18
第2号
受附

土第八〇號

昭和九年五月拾壹日

和歌山縣知事 清水良策

陸軍大臣 陸軍大將 林銑十郎 殿

秘密地圖模寫ニ關スル件

三月九日陸普第一二六七號ヲ以テ御承認ニ係ル標記ノ件別紙（別紙圖面ハ書留小包郵便ヲ以テ別途送付）ノ通由良要塞司令部員立會ノ下ニ模寫候條御檢閲相成度左記事項ヲ具シ此段及稟請候也

記

一、模寫許可年月日 昭和九年三月九日

一、全 番號 陸普第一二六七號

一、調製方法 石版

一、調製部數 百枚

陸軍部 第五四八號 其一

和歌山縣

土第八〇號

昭和九年五月拾壹日

和歌山縣知事 清水良

陸軍大臣 陸軍大將 林 銑十郎 殿



秘密地圖模寫ニ關スル件

三月九日陸普第一二六七號ヲ以テ御承認ニ係ル標記ノ件別紙（別紙圖面ハ書留小包郵便ヲ以テ別途送付）ノ通由良安塞司令部員立合ノ下ニ模寫候條御檢圖相成度左記事項ヲ具シ此段及稟請候也

記

一 模寫許可年月日

昭和九年參月九日

一 全 番號

陸普第一二六七號

一 一 調製 方法

石版

一 一 調製 部數

百枚



四月廿七日 臨時祭中勅使、皇族御參拜、軍隊參拜（約二十社）
 (口)新聞發表ハ委員ノ提供セル資料ニ依リ陸軍省新聞班ニ於テ行ヒタリ

政務官回付 決裁前後連帶
 參與官回付 決裁前後連帶

永久甲 望々

決行(決裁)後
 回覽課名

防備 奉天軍

保存期限
 決裁指定
 執行指定
 牛島

大臣 委		件名 都市計畫用地圖印刷件		番受 壹等三八三〇號	
局長 主務	次官 委	政務 次官	起元廳(課)名 大分縣		
局長 主務	高級 副官 牛島	參與官	書記官		
局長 主務	主務 副官 伊藤	主務 副官 官房御用掛	審案 筆記者		
局長 主務	主務 課員	主務 課員	審案 筆記者		
昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日		
昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日		
昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日		
昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日	昭和一十一年一月十七日		

軍事第九号

陸軍

公案